

京都岡本記念病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

| | |
|------------------|--|
| 承認番号 | 2019-10 |
| 研究課題名 | 慢性鼻副鼻腔炎を含む鼻トラブルと心房細動の関連：横断研究 |
| 研究責任者 | 【所属】 京都岡本記念病院 循環器内科 【氏名】 赤羽目 聖史 |
| 研究担当者 | 【所属】 京都岡本記念病院 循環器内科 【氏名】 谷口 琢也 |
| 研究期間 | 【開始】 2019年 3月 7日 【終了】 2021年 3月31日 |
| 研究の背景・目的・意義・方法など | <p>【背景】 心房細動は心原性脳塞栓の原因となる不整脈で、半数以上が死亡・寝たきり・歩行介助を要することから、心房細動の危険因子を同定することがきわめて重要です。心房細動の原因の1/3は心臓以外にあるとされ、自律神経のバランス異常や慢性炎症の関与が考えられていますが、未だに解明されていません。慢性鼻副鼻腔炎は炎症が持続する疾患ですが、心房細動との関連は明らかではないのが現状です。</p> <p>【目的】 慢性鼻副鼻腔炎を含む鼻トラブルと心房細動の関連を調べること。</p> <p>【方法】 研究デザインは横断研究、セッティングは京都岡本記念病院循環器内科（土曜日）外来。2018年7月～2019年3月に受診した症例に対して、鼻トラブル（慢性鼻副鼻腔炎を含む）、気管支喘息、胃食道逆流症、アデノイド肥大、甲状腺機能異常、心房細動の家族歴、喫煙歴、飲酒歴、睡眠時無呼吸症候群に関する情報を収集します。また、頭部CT/MRIが撮像されている場合は、副鼻腔所見を収集し、心房細動との関連を調査します。そのほかに年齢、性別、身長、体重、高血圧、糖尿病、スタチン服用、基礎心疾患（陳旧性心筋梗塞、経皮的冠動脈インターベンションの既往、冠動脈バイパス術の既往、心筋症、弁膜症、不整脈等）、心電図所見、心エコー図所見を収集し、通院している症例の特徴を記述します。</p> <p>【解析】 説明変数を鼻トラブルとし、目的変数を心房細動とします。ロジスティック回帰分析を用い、年齢、性別、身長、体重を含め、上記に挙げた問診項目等で調整を行い、結果はオッズ比と95%信頼区間で記述します。</p> <p>【意義】 本研究で鼻トラブルが心房細動に強く関連していることがわかれば、鼻トラブルを有する患者に対して心電図検査を定期的に行うことによって、心房細動を早期に発見し、適切な治療や経過観察を行うことを通して重篤な合併症を防ぐことが期待できます。</p> |
| 対象者 | 2018年7月～2019年3月に京都岡本記念病院循環器内科（土曜日）外来を受診した症例 |
| 試料・情報等の利用目的、利用方法 | 情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。 |
| 研究に用いる試料・情報の種類 | 問診および電子カルテより収集した情報、採血・心電図・心エコー図・頭部CT/MRI所見 |
| 備考 | |

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、京都岡本記念病院 臨床研究センター 臨床研究管理室 までお問い合わせ下さい。

TEL 0774-48-5500

Fax 0774-48-5553